

講義名	発育発達論			授業形態	
担当教員	北村 裕美	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本講義では、ヒトの誕生から成長、成熟、老化といった各過程における身体的、心理的、社会的特徴について学習する。特に、発育期における運動遊びの重要性やスポーツ外傷・障害予防の考え方について、最近の知見を紹介しながら概説する。

到達目標

発育、発達、加齢に伴う身体変化について、説明できるようになる。
現代の子どもの諸問題について、説明できるようになる。

提出課題

確認テスト（毎授業時に行います）
コメントシート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

必要に応じて、個別に講評する。

評価の基準

毎回の確認テスト・・・100%
* 授業実施時間数の3分の1以上（5回以上）欠席した者は出席不足となり、単位認定できない。
* クラブ活動や就職活動による欠席届は考慮しない。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は、「健康運動実践指導者」受験資格取得に必要な科目である。
欠席した場合、その回の確認テストは0点となる。退席の授業までに申し出があれば、配慮する。
授業用ノートを用意し、必要なことはしっかりと書き取ることを。

教科書

.使用しない。

参考図書

.大人が知らない子どもの体の不思議.	神原 洋一	講談社	879	4062576163
.子どもの保健と安全演習ブック.	小林 玄他	ミネルヴァ書房	2750	462308910X

その他

<資料>
授業中に適宜配布する。

授業計画

- はじめに
- 発育・発達とは
- 乳児期の発育
- 幼児期の発育
- 乳幼児期の発達
- 運動機能の発達
- 基本的な生活習慣の獲得
- 学齢期の発育発達
- 子どもの健康
- 子どもの安全
- 思春期の発育発達
- 青年期の発育発達
- 壮年期の加齢変化
- 老年期の加齢変化
- まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業計画に合わせて、自分の子どもの頃の体験を整理したり、家族や身近な大人に身体の変化について尋ねたりすること（2時間）。
復習：授業中に理解できなかった専門用語や内容は自分で調べ、確認テストを想定して学習すること（2時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、健康分野に関する基礎知識の習得を到達目標としており、ディプロマポリシーに貢献する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業では、Microsoft Formsを使用する。

実務経験の有無及び活用

特になし

備考

特になし